

福祉会活動状況一覧

No.1

No.	福祉会 名称	設立年月日	総人口	全世帯数	65歳以上	高齢化率	構成員	対象者数	
1	みずほ福祉会	H11.3.2	784人	356世帯	235世帯	45.2%	17人	85世帯	
	見守りの対象		見守り方法			自治会との関係性			
	65歳以上の単身者及び高齢者夫婦世帯。このほか、毎年3月に自治会の回覧により「ふれあい昼食会」参加者を募り、これらの方々も対象にしている。		①ごっこニュースの配布 ②ふれあい昼食会へのお誘い ③お楽しみ会などの作品を届ける などで毎月最低でも3~4回は訪問とその他のさりげない見守りを実施。			自治会内の1組織。月1回の福祉会定例会には区長、公民館長は賛助会員として出席。情報交換を行い、助言をいただいている。			
	その他の活動内容								
	①毎月1回お楽しみ会(福祉会担当)、昼食会(食進会担当)の「ふれあい昼食会」を平成10年4月から今日まで継続して実施。※福祉会員の昼食実費300円は個人負担。②年1回は会員の資質向上と親睦を図るため研修視察などの実施。								
取り組みの効果と課題									
・独居高齢者の人数は死亡・施設入所・入院等で横ばいだが、高齢者夫婦のみの世帯が増加している。・高齢者夫婦のみの世帯にも「ごっこニュース」をお届けし、健康状態も気になることから、ふれあい昼食会への参加を促していく。そのなかでも介護保険を利用されていない世帯を重点的に見守っていく。									
2	福祉会 名称	設立年月日	総人口	全世帯数	65歳以上	高齢化率	構成員	対象者数	
	美吉野区福祉会	H20.4.13	851人	371世帯	218世帯	38.0%	17人	68人	
	見守りの対象		見守り方法			自治会との関係性			
	原則、65歳以上の独居高齢者(昼間独居者を含む)及び病弱高齢者夫婦世帯。自治会への加入、未加入は問わない。		①「見守り活動のポイント」を基本に、会員を5班編成にして見守り活動分担割により見守りの充実を図る。②異変と思われる場合は民生委員等と訪問。そのほか民生委員は個別訪問を実施し、情報共有。			基本的には自治会組織内1組織。			
	その他の活動内容								
①花プレゼントを75歳以上の高齢者に対象者基準に沿って実施(1回/年)。②サロン活動(体操・昼食会)及び世代間交流活動。③活動資金確保とコミュニケーション向上の目的でリサイクルフェア、資源物回収を実施。④公民館で、「ティータイム美吉野」を開催。⑤折尾高校と協働の安全パトロール(予定)									
取り組みの効果と課題									
・地域内の一体感が見えてきた。・自治会未加入者の情報が得にくい。・後継者の発掘。・女性ボランティアの登用。(徐々に増えていくように努力)・老、若世帯の混在が進んできた結果、若手の協力が若干得られるようになった。しかし、後継者問題は消えない。									

福祉会活動状況一覧

No.2

	福祉会 名称	設立年月日	総人口	全世帯数	65歳以上	高齢化率	構成員	対象者数
3	頃末南区福祉会	H22.11.28	1,588人	764世帯	379世帯	32.1%	32人	20～30世帯
	見守りの対象		見守り方法			自治会との関係性		
	高齢者全世帯をABC世帯に振り分け。A世帯・・・問題ない世帯 B世帯・・・見守りが必要な世帯 C世帯・・・施設・介護・病院・家族のお世話が必要な世帯。年に一度更新。B世帯を中心とした見守り。		①1丁目から3丁目で範囲を分けて、それぞれ担当地区の民生委員を中心に福祉会の会員さんを配置。②毎月の定例会議後に複数のグループでB世帯への訪問を実施			自治会の一専門部会。自治会からの情報提供はあるが、自治会への提供はしていない。		
	その他の活動内容							
	①「ふれあい体操」後の茶話会で、参加者間の親睦を図るため、健康講話や誕生会を年8回実施。②ふれあい昼食会を年4回実施。③年1回の勉強会または見学会を計画。④敬老会の日に福祉相談コーナーを設置。⑤育成会と一緒に高齢独居者宅を絵たよりと花をもって訪問。⑥活動資金確保のための年末食品斡旋販売。							
取り組みの効果と課題								
・少しずつ見守り活動が定着してきている。 ・役員の交代が難しい。複数の見守りグループとの情報交換と将来、統一を考えるべきと思う。 ・確実に見守り活動が定着している。								
4	猪熊福祉会ひまわり	H24.3.18	3,259人	1,485世帯	692世帯	29.9%	25人	62人
	見守りの対象		見守り方法			自治会との関係性		
	原則、70歳以上の単身世帯。自治会への加入、未加入者は問わない。		①月1回、会員2名により、「ひまわり通信」を配付しながら見守り訪問する。②月1回の定例会で、相談があった案件などを話し合う。			自治会内の1外郭団体。協力体制あり。		
	その他の活動内容							
	①「ひまわり昼食会」年2回実施。②誕生月にプレゼントを配付。③高齢者に対する生活支援ボランティア(ゴミ出し、部屋の掃除、片付け、電球の取替えなど)を実施できるように検討会を設置。							
取り組みの効果と課題								
・地域的に人口が多く、広い。70歳以上の単身世帯の居住地がつかめた。 ・福祉会員の後継者がいない								

福祉会活動状況一覧

No.3

福祉会 名称	設立年月日	総人口	全世帯数	65歳以上	高齢化率	構成員	対象者数
鯉口分譲区福祉「笑学」ネット	H24.4.15	189人	86世帯	63世帯	47.6%	6人	全世帯
見守りの対象		見守り方法			自治会との関係性		
全高齢者世帯を対象とするが、その中でも特に気になる14～15世帯。自治会加入＋未加入者(20)		①毎月のサロン活動(茶話会や学習会など)を中心に住民相互の仲間づくりを行い、日常的な声かけや見守り、緊通システムの紹介などを行い、ネットワークを図る。			自治会より承認されている団体。区長が福祉会の運営委員。4つの組の副区長も運営委員とする。自治会の役員会には出席要請あり。		
5	その他の活動内容						
	①ふれあい行事(茶話会・ハイキング)などの親睦を深めるためのサロン活動。②福祉ネット活動に沿った学習(見学・体験・研修など)。③自治会・社協・諸活動団体との連携。④中部高齢者支援センターとの家庭支援学級の実施。						
	取り組みの効果と課題						
	・役員交替時に運営委員も交替するので、どなたも「笑学」ネットの活動に関われること。・自治会全体の行事が多いので、自覚的な人たちは集まるが、各組毎の親睦が深まらない。						
福祉会 名称	設立年月日	総人口	全世帯数	65歳以上	高齢化率	構成員	対象者数
吉田三区福祉会「華の輪」	H26.2.16	1,367人	661世帯	354世帯	36.2%	19人	73人
見守りの対象		見守り方法			自治会との関係性		
原則、65歳以上の単身世帯。自治会への加入、未加入者は問わない。		①月1回の訪問と声掛けを担当地区の民生委員を中心に福祉会の会員さんを配置して「向こう三軒両隣」的な関係の構築に取り組む。 ②2月に1度「華の輪通信」の発行とサロン活動を実施している。			自治会内の1外郭団体。サロン活動の組長回覧など、協力体制あり。また、自治会の防災組織にも参加し、災害時要援護者の把握にも努めている。		
6	その他の活動内容						
	①公民館でのサロン活動を年6回計画。引きこもりがちな人を連れ出し、住民の親睦を深める内容を検討して実施。						
	取り組みの効果と課題						
・会員自体の高齢化により、活動を継続していくこと、役員選任にも難を感じている。							

福祉会活動状況一覧

No.4

7	福祉会 名称	設立年月日	総人口	全世帯数	65歳以上	高齢化率	構成員	対象者数	
	立屋敷区福祉会	H28.7.1	545人	270世帯	110世帯	30.1%	9人	28人	
	見守りの対象		見守り方法			自治会との関係性			
	原則、70歳以上の単身世帯及び75歳以上夫婦世帯。自治会への加入、未加入は問わない。		①会員2～3名で、担当世帯を見守り訪問する。②3ヶ月に1回は「高齢者ニュース」を発行し配布。			区自治会傘下の1組織。福祉会役員会には公民館長、副公民館長は賛助会員として出席。			
	その他の活動内容								
	①公民館でのふれあい体操終了後に、サロン活動を実施。住民同士の交流の場となっている。								
	・福祉会での情報を常に民生委員と連携して、可能な限り高齢者支援係へつないでいる。 ・民生委員や中部高齢者支援センターとの訪問時期を調整して、効率の良い訪問を検討している。								
8	福祉会 名称	設立年月日	総人口	全世帯数	65歳以上	高齢化率	構成員	対象者数	
	高尾福祉長寿会	H29.4.1	621人	282世帯	184世帯	45.9%	15人	約20人	
	見守りの対象		見守り方法			自治会との関係性			
	単身世帯で現サロン活動等に参加されていない方、出て来られない方。自治会への加入、未加入は問わない。		①サロン活動等のお知らせ②さりげない見守りを通して、異変と思われる場合は、民生委員等へ連絡。そのほか、民生委員は個別訪問を実施し、情報共有。			自治会内の1組織。			
	その他の活動内容								
	①サロン会 ②ふれあい喫茶								
	取り組みの効果と課題								
・会員の支え合い、助け合い、仲間づくり、見守りと十分な成果が得られたので、より一層の見守りの強化。 ・スタートは40名程度だったが、多い時で60名の参加と増えていった。 ・福祉長寿会役員と民生委員児童委員と自治会会員の横のつながり、情報の共有を有効に活用する。									